

# ガーナの児童労働フリーゾーン(CLFZ) に関する調査:

## 調査報告(1)

2022年7月20日

岩附 由香、赤堀友希、白木朋子  
調査チーム  
(認定NPO法人ACE)

# 報告(1)の構成

1. 背景
2. 児童労働フリーゾーン（CLFZ）について
3. 調査の概要
4. 郡、コミュニティレベルの能力強化
5. CLFZアセスメントシステムの構築支援
6. 質疑応答（10分）

# 1. 背景

# カカオ産業の児童労働の現状～SDGsのターゲットにも

世界のカカオ生産の約7割を占める西アフリカ。

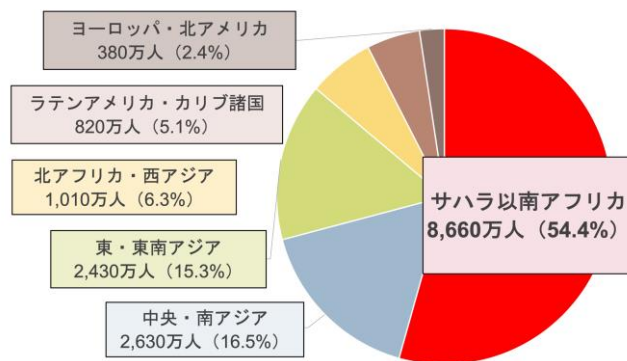
- ・コートジボワールとガーナで156万人の児童労働
- ・95%が危険有害労働に従事
- ・ガーナは77万人、カカオ生産地の農家の55%  
(NORC報告書、2020年10月)



日本が輸入するカカオの  
77%はガーナ産！



世界の児童労働者の約56%を占める  
アフリカ。子どもに占める割合も高い。



データ：ILO/UNICEF、2021年



## SDGターゲット8.7



2025年までに、  
世界のあらゆる児童労働を  
終わらせる。

# カカオの児童労働に対する国際的な取り組みは進んできた。 しかし、大きな成果が出ていないのが現状。

## ● 2001年 ハーキン・エンゲルス 議定書

チョコレート・菓子業界とコートジボワール、ガーナ各政府が「米国が輸入するカカオ製品に最悪の形態の児童労働がないこと」をめざして取り組むことに合意。国際カカオイニチアチブ (ICI) が結成される。

目標は、「児童労働のないカカオ」の認証制度を2005年までに構築すること ⇒ **2008年まで延長したが実現せず。**

## ● 2010年9月 新しい行動枠組み Child Labour in Cocoa Coordinating Group (CLCCG) 結成。毎年1回のレポート発行、年次会合 & ステークホルダー会合を開催。

**目標は、2020年までに児童労働を70%削減すること（2010年時点と比較して）。**

\*CLCCG：コートジボワール政府、ガーナ政府、チョコレート・菓子業界 (WCF/世界カカオ財団)、米国労働省 (USDOL)

## ● 2020年10月、 シカゴ大学 NORCレポート

コートジボワールとガーナで、156万人の児童労働者がカカオ農業に従事との発表。

**「2020年までに70%削減」には遠く及ばなかった。**

Chocolate Manufacturers Association

2018  
CLCCG ANNUAL REPORT



CocoaAction

NGOs + Donors

KPI's & SHARED LEARNINGS

- Good Agricultural Practices
- Regulating & Rehabilitation
- Fertilizer & Soil Fertility
- Child Labor Prevention
- Primary Education
- Women's Empowerment

PRODUCTIVITY PACKAGE

COMMUNITY DEVELOPMENT PACKAGE

Origins

- Côte d'Ivoire
- Ghana

Partners: BARRY'S, CALLEBAUT, FERRERO, MONDELEZ, HERSHEY'S, NESTLE, MARS, CARGILL, OLIAM COCOA.



## カカオ産業の児童労働（ガーナ、コートジボワール）

発出年 (調査期間)	ガーナ		コートジボワール	
	(児童労働)	(危険有害な 児童労働)	(児童労働)	(危険有害な 児童労働)
2010 (2008-2009)	947,777	931,005	809,835	791,181
2015 (2013-2014)	918,543	878,595	1,203,473	1,153,672
2020 (2018-2019)	<b>765,754</b>	<b>713,419</b>	<b>790,647</b>	<b>765,233</b>

出所：Final Report, 2013/2014 Survey Research in West African Cocoa Growing Area. (2015, Tulane University)、Final Report: Assessing Progress in Reducing Child Labor in Cocoa Production in Cocoa Growing Areas of Côte d'Ivoire and Ghana. (2020, NORC) を元に調査団が作成。

# ガーナの児童労働の状況

- 児童労働者：189万2,598人（5歳～17歳の21.8%）
- 最悪の形態の児童労働者：123万1,285人（5歳～17歳）
- セクター別割合
  - ① 農業・水産業（79.2%）
    - **カカオ**、パーム油、家畜・放牧、漁業
  - ① 鉱工業（5%）
    - 金や他の鉱物資源の採掘、建設業、家庭用レンガ制作
  - ① サービス業（15.8%）
    - 家内労働、交通機関ターミナルでの物売り、廃棄済み電気製品のリサイクル備品収集、路上での荷役や小売り

州別の児童労働者の割合（%）

	児童労働者の割合(%)	最悪の形態の児童労働者の割合(%)
ウェスタン州	20.5	13.5
セントラル州	8.9	4.2
グレーターアクラ州	5.2	1.9
ヴォルタ州	26.9	22.0
イースタン州	<b>29.0</b>	21.0
アシャンティ州	<b>23.0</b>	16.2
ブロン・アハフォ州	<b>33.5</b>	24.4
ノーザン州	22.8	11.9
アッパーイースト州	31.7	13.1
アッパーウェスト州	33.5	15.4
ガーナ全体	<b>21.8</b>	14.2

（データ：Ghana Living Standard Survey Round 6: GLSS6（2016））

# 児童労働撤廃に関連するガーナの国家計画、政策、施策

## 【児童労働関連】

- **児童労働撤廃に向けた国家計画フェーズ2：2017-2022（NPA2）**
  - ① **ガーナ児童労働モニタリングシステム（GCLMS、2010）**
  - ② **危険作業フレームワーク（HAF、2016）**
  - ③ **児童労働フリーゾーン構築に向けたガイドライン（CLFZ、2020）**

## 【教育・福祉関連】

- 基礎教育の義務化・無償化による完全普及（fCUBE、1996）
- 貧困家庭に対する社会保障（LEAP、2008）
- 子ども家庭福祉政策（2015）  
（ケースマネジメント、分野横断SOP、SWIMS）
- 高校無償化（職業訓練含む）（2016）

## 批准している国際条約

- 国連子どもの権利条約（1989年）
- アフリカ子どもの権利と福祉憲章（2005年）
- ILO第138号条約（就労最低年齢）
- ILO第182号条約（最悪の形態の児童労働）

## 子どもの権利、保護に関連する国内法

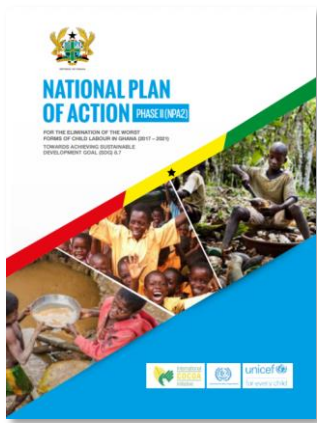
- ガーナ国憲法（1992年）
- 子ども法（1998年）
- 子ども権利規定（2002年）
- 人身取引法（2005年）
- 改正刑法（1998年）
- **義務教育は幼稚園～中学校（5～14歳）**
- **15歳未満の就労の禁止、18歳未満の危険有害労働、最悪の形態の児童労働の禁止**



## 2. 児童労働フリーゾーン (CLFZ) について

# 「児童労働フリーゾーン(CLFZ)構築のためのガイドライン」

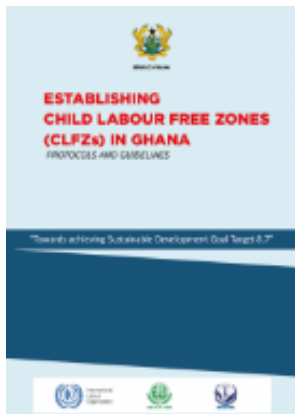
## Protocols and Guidelines for the Establishment of Child Labour Free Zones (CLFZs) in Ghana



- 児童労働撤廃に向けた国家計画フェーズ2：2017-2022（NPA2）の活動1.4.1.2として、CLFZガイドラインの策定が求められていた
- 2018年11月より検討開始。ACE,デロイトトーマツコンサルティング合同会社のサポートの元2020年3月に発行。それ以降は、ガーナにおける児童労働に関する活動は、本ガイドラインに沿って進められることが推奨されている。

### CLFZの目的：

- 一定の地域において、あらゆる形態の児童労働を撤廃するために整備されるべき要件を特定し、維持すること
- ガーナにおける児童労働撤廃に向けた政府および他の関係機関の取組の成果を図るための基準を開発する
- （ガーナ国憲法や子ども法に基づき）国全体において、子どもの福祉や健全な成長のために必要な資源が投入され、子どもの権利が守られることを促進、実現する。
- 特定の地域およびひいては国全体において、すべての形態の児童労働を削減する



# CLFZの定義と要件



- **CLFZの定義**：児童労働の予防と解決のための要件が地域コミュニティおよび自治体レベルで整っている地域
- アセスメント（評価）を通じて、自治体ごとにCLFZとして認定する
- 8項目の認定要件に対し、36つの指標が定められている

No	主な指標区分（要件）
A	効果的な意識啓発とアドボカシー
B	子どもの保護に関するコミュニティ規則の制定と実行
C	児童労働モニタリングシステムが存在し、機能している
D	児童労働の被害を受けた子どもや保護者に対する、効果的な照会制度（ケースマネジメント）、支援策
E	適正な学習環境（学校環境、教員の配置などを含む）
F	自治体レベルにおける実施体制（条例の制定、行政機関の連携、計画、予算への組み込みを含む）
G	統合的なエリアベースアプローチ
H	児童労働の割合を10%以下に削減する

# 3. 調査の概要

## JICAによる児童労働フリーゾーン(CLFZ)普及支援:

# ガーナ共和国 カカオ・セクターを中心とした児童労働に係る情報収集・確認調査

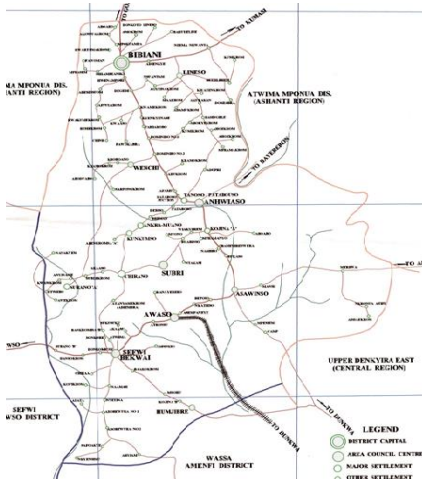
概要	
目的	<ul style="list-style-type: none"><li>CLFZガイドラインの実施、児童労働撤廃の取組を後押しする</li><li>ガーナにおける児童労働撤廃に向けた、将来的な連携可能性を特定する（SDG8.7達成を見据えて）</li></ul>
実施期間	2020年10月～2022年6月
カウンターパート機関	雇用・労働関係省（労働局、児童労働ユニット）
連携機関	児童労働に関する国家委員会（NSCCL）、教育省、ジェンダー・子ども・社会保障省、地方自治・農村開発省など
主な活動	<ol style="list-style-type: none"><li>CLFZガイドラインに基づいたパイロット活動の実施支援（CLFZガイドラインの有効性の検証、必要な仕組みの構築支援）</li><li>文献調査、関係者ヒアリング等による情報収集（国際機関、ドナー、カカオ業界組織、企業、NGO等）</li><li>日本のプラットフォーム関係者との情報共有、意見交換</li></ol>
受注者	認定NPO法人ACE、アイ・シー・ネット株式会社

# パイロット活動の対象エリア(2郡/2州)

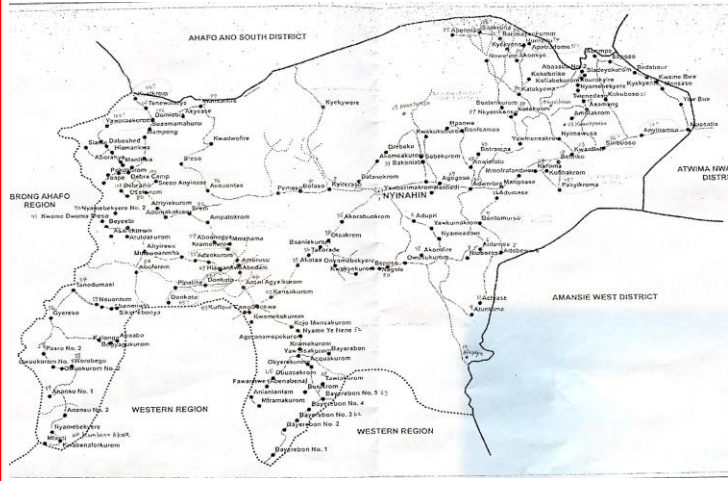
②ビビアニ・アンフィアソ・ベクワイ郡  
(ウェスタンノース州)  
Bibiani-Anhwiaso-  
Bekwai Municipality  
(Western North Region)

①アチュマ・ンプニユア郡  
(アシャンティ州)  
Atwima Mpunua  
District(Ashanti Region)

人口:約15万人



人口:約12万7千人

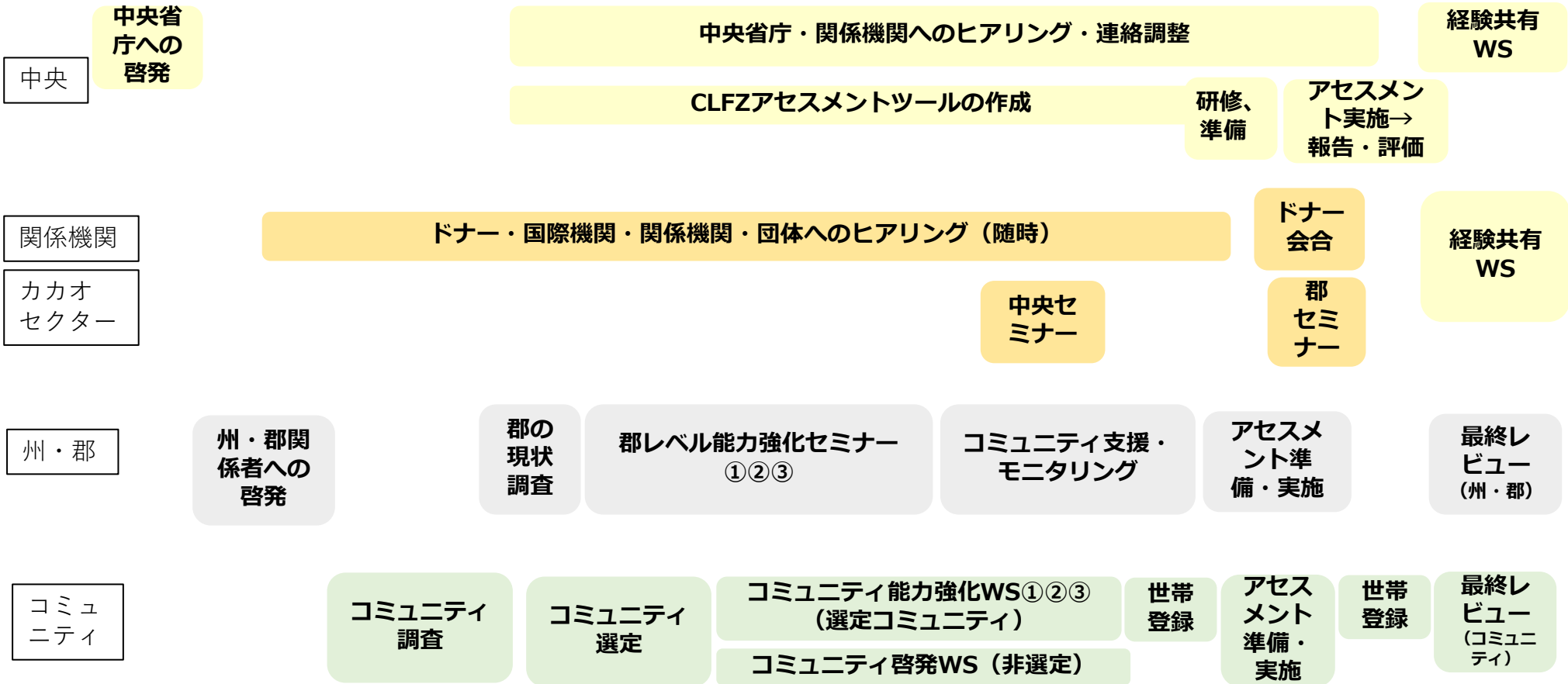


両郡ともカカオ生産が主産業。金などの鉱山も点在している。

ガーナ全体では、256の郡が存在

# ガーナでのパイロット活動

2021												2022			
Jan	Feb	Mar	Apr	May	Jun	Jul	Aug	Sep	Oct	Nov	Dec	Jan	Feb	Mar	Apr

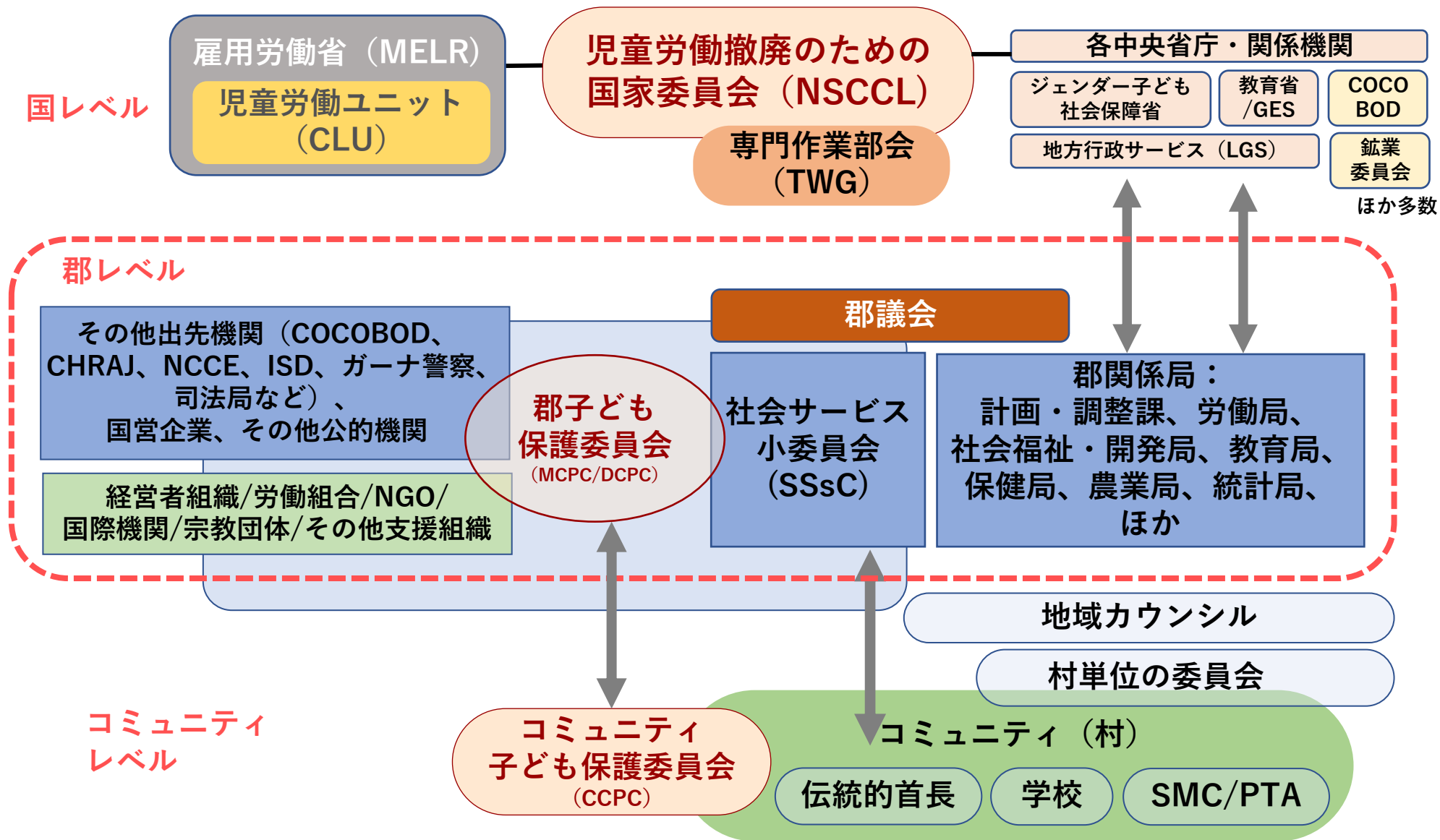


ヒアリング・意見交換している国際機関、ドナー、カカオ関連組織：ILO、ユニセフ、FAO、世界銀行、EU、米国労働省、世界カカオ財団（WCF）国際カカオイニチアチブ（ICI）、欧州カカオプラットフォーム（ドイツ、スイス、オランダ、ベルギー）

## 4. 郡、コミュニティレベルの能力強化 (ガーナでのパイロット活動)



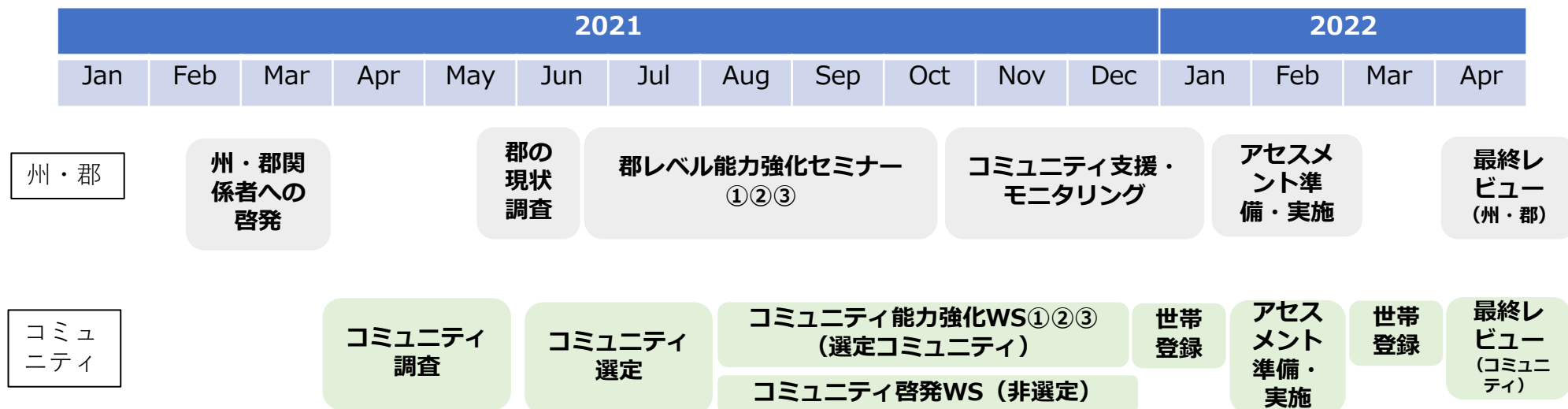
# ガーナの児童労働に関する主要関係者



# ガーナでのパイロット活動

## パイロット活動の目的

- CLFZを円滑に実施するために、既存制度の現状を分析し、阻害要因を特定する。
- コミュニティレベルでのパイロット活動を促進するために、郡関係者の能力強化を支援する。
- CLFZを実現するために必要な体制を整え、コミュニティ住民の能力開発を支援する。



# パイロット活動を通じた主な学び・教訓

## 1. 標準化されたCLFZ指標の有効性

- ギャップ分析、および戦略立案に有効。

## 2. 「何をどうすればいいのか」を知ってもらうことで、適切な行動を促すことができる

- 特定のサプライチェーンを超えて、あらゆる形態の児童労働に目を向ける。
- コミュニティと郡双方の主要なアクターを関与させる。
- 役割と責任を明確に理解することの重要性。

## 3. 他部門・外部組織との連携の可能性

- 既存の政府の制度・プログラムを運用し、強化する必要性。
- 重複を避けることで、リスクを抱える子どもや家族への救済措置のための資源配分を増やす。
- 行政がカバーしきれない領域を外部組織と連携、分担する。

# 1. 標準化されたCLFZ指標の有効性

## コミュニティのデータ収集とパイロットコミュニティの選定

- 小学校のあるコミュニティ対象（小集落は除く）
- CLFZ指標（A～E）を元にした質問票調査

- 郡①: 110コミュニティ（全257コミュニティ）
- 郡②: 82コミュニティ（全197コミュニティ）

グレード	色	達成率(%)	郡①	郡②
A	緑	90%以上	33%	15%
B	薄緑	80-89%		
C	薄い青	70-79%		
D	黄色	51-69%	31%	33%
E	ピンク	40-50%	35%	52%
F	赤	0-39%		

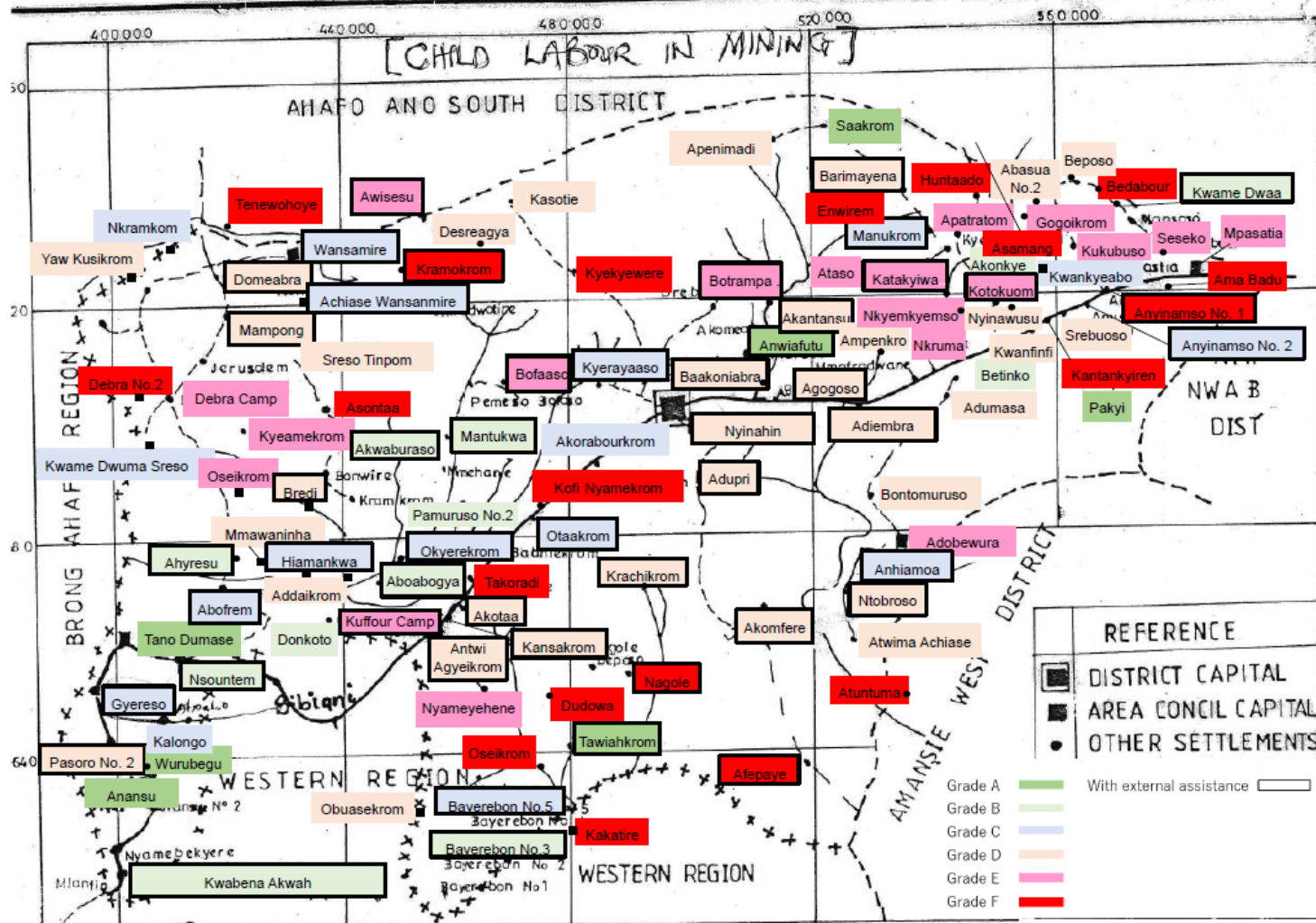
### <CLFZ指標に沿った質問項目>

- 啓発活動 ・村の規則 ・住民登録 ・CCPC ・村の活動計画
- レファラルシステム ・救済システム
- SMC/PTA ・学校環境 ・教員の配置（小・中）

Area Count	Epi-center Commu	A1	B1	C1	C2	C6	C7	D	D	C3	E1,2	E3	E3	al Point	ide	
		A1: Awareness	B1: Engaging Activity	C1: Community Regulations	C2: Community Register	C6: CCPC	C7: CCPC Training	D: Community Action Plan	D: Referral System	C3: Remediation Package	E1,2: SMC & PTA	E3: School Condition	E3: .1: Class Teacher(p)	E3: .1: Class Teacher(j)		
1 Nyinahin	1 Nyinahin	2	1	0	0	0	0	2	2	2	0	2	1	14	D	
2 Nyinahin	2 Adupri	2	0	0	2	2	2	0	2	2	1	0	1	14	D	
3 Nyinahin	3 Kyerayaaso	0	1	0	2	2	1	2	2	1	2	2	1	18	C	
4 Nyinahin	4 Bofaaso	0	0	0	0	0	0	2	2	2	1	2	1	12	E	
5 Adobewura	1 Adobewura	2	0	0	0	0	1	2	2	1	1	0	1	12	E	
6 Adobewura	2 Anhiamao	2	1	0	2	0	0	2	2	2	1	2	1	17	C	
7 Adobewura	3 Bontomuruso	2	0	0	0	0	1	2	2	1	1	2	2	15	D	
8 Adobewura	4 Ntobroso	2	0	0	0	0	0	2	2	1	1	2	2	14	D	
9 Adobewura	5 Atuntuma	2	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	1	6	F	
10 Adobewura	6 Alepaye	2	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	6	F	
11 Adobewura	7 Atwima Achiasse	0	0	0	0	0	0	2	2	2	1	2	2	13	D	
12 Anyinamso	1 Anyinamso No.2	2	0	0	0	0	1	2	2	2	1	2	2	16	C	
13 Anyinamso	2 Amadaa	0	1	0	0	0	1	2	2	2	2	2	2	16	C	
14 Anyinamso	3 Ampenkro	2	1	0	0	0	1	2	2	2	1	0	0	13	D	
15 Anyinamso	4 Anyinamso No.1	0	0	0	0	0	0	0	2	2	1	0	0	7	F	
16 Anyinamso	5 Abasua No.2	2	0	0	0	0	1	2	2	2	1	0	1	13	D	

# 1. 標準化されたCLFZ指標の有効性

Atwima-Mponua District, Ashanti Region Map





## 2. 「何をどうすればいいのか」を知ってもらうことで、適切な行動を促すことができる

すべての部門、すべての形態の児童労働を対象とした。

**×** Heavy load more than 30% of body weight

**×** Working in mining areas (Galamsey sites)

**STOP CHILD LABOUR and TRAFFICKING !!**

**×** Working at market during school hours

**×** Slavery (Forced labour)

For Access to Social Supports, Call Helpline Toll Free  
**0800 800 800**  
**0800 900 900**  
 (Managed by Ministry of Gender, Children and Social Protection)

## STOP CHILD LABOUR !!

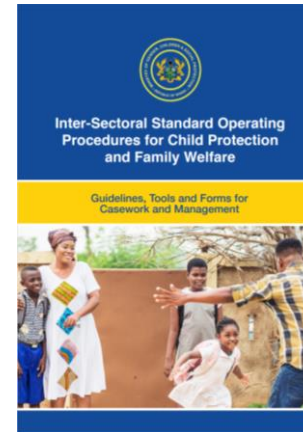
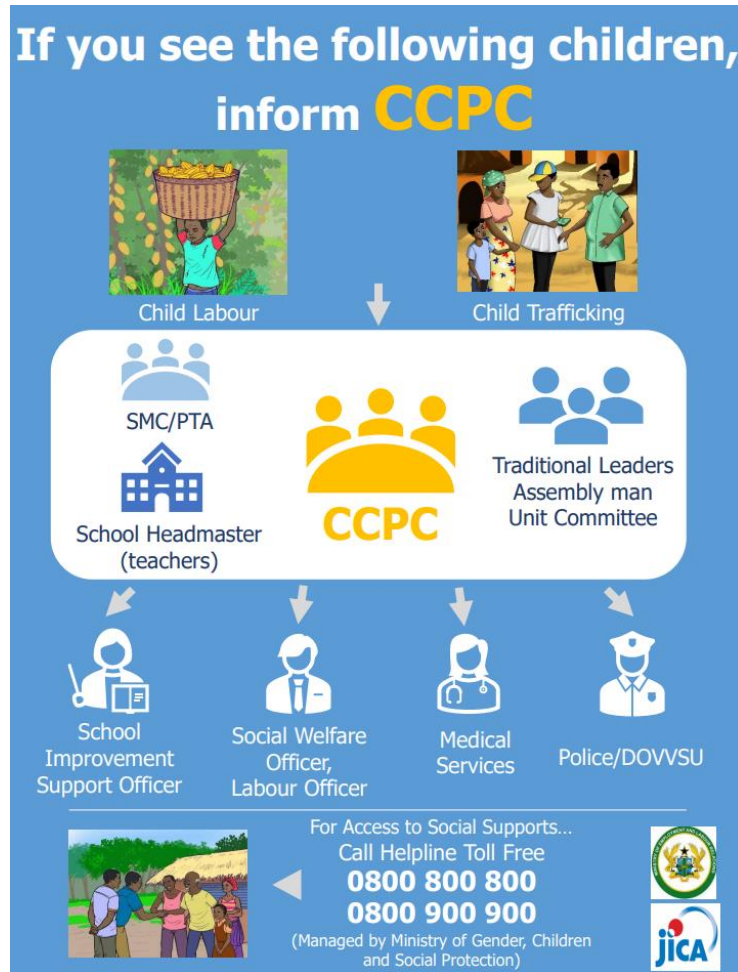


- ×** Heavy load more than 30% of body weight
- ×** Carrying more than 2 miles
- ×** Working more than 3 hours in a day



## 2. 「何をどうすればいいのか」を知ってもらうことで、適切な行動を促すことができる

レファラルの手順書（SOP）に基づき、レファラルの流れや主要関係者の役割などを指示。



←  
ジェンダー・子ども・  
社会保障省が定める児童保護と家族福祉のための部門間のレファラルの手順書（SOP）



## 2. 「何をどうすればいいのか」を知ってもらうことで、適切な行動を促すことができる

### ● 特定された児童労働の種類および詳細

(2021年10-11月の、21のパイロットコミュニティでの学校および職場モニタリングによる)

No.	種類	詳細
1	農業	家族の農作業の手伝い、苗床での労働
2	金属鉱業	違法な小規模金鉱山での労働、金属スクラップ集め
3	製造業	製材所での労働、バイク修理店での労働
4	交通・運搬業	プランテーション（食用バナナ）販売業者の下でのプランテーションの運搬 三輪バイク・モーターバイクでの人・荷物の運搬
5	小売業	市場での農作物や炭の販売、木の根の採取・販売、理髪店での労働
6	家内労働	家事手伝い、弟・妹の子守

### ● 特定された児童労働のリスクがあるケース／児童の保護

- ✓ 不登校
- ✓ 中途退学
- ✓ 就学年齢だが、一度も学校に行ったことがない
- ✓ 児童虐待
- ✓ ギャンブル、喫煙、飲酒
- ✓ 児童婚



## 2. 「何をどうすればいいのか」を知ってもらうことで、適切な行動を促すことができる

### ● 児童労働をしていた・リスクにあった子どもの入学・復学した数と割合

(2021年10-11月の、21のパイロットコミュニティでの学校および職場モニタリングによる)

	郡①			郡②		
	a	b	b/a	a	b	b/a
	児童労働をしていた・リスクにあった子どもの数	学校に入学・復学した子どもの数 (約束されたケースも含む)	%	児童労働をしていた・リスクにあった子どもの数	学校に入学・復学した子どもの数 (約束されたケースも含む)	%
合計	110	67	61%	84	34	40%
児童労働をしていた子どもの数	(23)	-	-	(38)	-	-
児童労働のリスクにあった子どもの数	(87)	-	-	(46)	-	-

→ (CCPCによるカウンセリング後も) 学校に入学・復学していない子どもへの再教育のサポートが必要

- 教育支援 (基礎教育/職業訓練)
- 経済的自立支援プログラム

### 3. 他部門・外部組織との連携の可能性

コミュニティレベルで改善したCLFZ指標、課題として対応が必要な指標

パイロット活動の前後で改善が見られた指標	ほとんどあるいは全く改善が見られなかった指標
<ul style="list-style-type: none"><li>● 児童労働に関する定期的な啓発活動（指標A1）</li><li>● CCCPCの設立、CCPC会議の定期開催、学校・職場のモニタリングと記録（指標）。</li><li>● CCPCへの研修や技術支援の提供（指標C6）</li><li>● レファラルシステムへのアクセスのしやすさ（指標D1）</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 児童労働を含む子どもの保護に関する<b>コミュニティ規定の策定</b>（指標B1）</li><li>● コミュニティにおける<b>世帯登録システムの確立</b>とその定期的な更新（指標C1）</li><li>● 児童労働の撤廃や子どもの権利保護に資する<b>コミュニティ活動計画の策定</b>（指標C7）。</li><li>● <b>教育・学習環境の整備</b>（指標E2）</li></ul>

→ **改善が見られなかった指標: コミュニティの活動だけでは改善が難しく、行政機関もしくは外部機関の支援が必要な分野。**

### 3. 他部門・外部組織との連携の可能性

郡レベルで改善したCLFZ指標、課題として対応が必要な指標

CLFZの要件（指標）	郡①		郡②	
	2021年6月	2022年4月	2021年6月	2022年4月
F1: 子どもの保護に関する郡条例	×	○	×	×
F2: 社会サービス小委員会 (SSsC)	○	○	×	○
F3: 郡行政機関	×	×	○	○
- 郡行政官の配置	×	×	○	○
- 効果的な連携 (例：郡子ども保護委員会)	△	△	△	△
F4: 郡年次計画	△	○	△	○
F5: 郡5カ年計画	△	○	△	○

→ コミュレベルで子どもを特定する所まで対応できるが、救済パッケージを行政サービスとして提供することが不十分。**行政のみで対応できないところを、その他の外部機関と連携して提供していくことが課題。**

### 3. 他部門・外部組織との連携の可能性

#### 既存の政府の制度やプログラムを機能させることが重要

- CLFZは新しいものではなく、既存の取組を統合する枠組み

CLFZ指標	既存の政府システム
世帯登録 (C1)	Ghana Child Labour Monitoring System (雇用・労働関係省) Ghana National Household Registry (ジェンダー・子ども・社会保障省) Social Welfare Information Management System National Census
レファラルシステム(D1)	Child and Family Welfare Policy & Inter-Sectoral SOPs for Child Protection (ジェンダー・子ども・社会保障省)
救済措置 (D2) (基礎教育・職業訓練の支援)	Complimentary Education Program (CEA) National Apprenticeship Program (技術職業教育訓練評議会事務局) Youth Employment Program (雇用・労働関係省) Scholarship program (ガーナ・カカオ・ボード)
救済措置 (D2) (経済的自立支援プログラム)	LEAP (ジェンダー・子ども・社会保障省) Support mining families (鉱業評議会)
教育・学習環境の整備 (E1、2)	FCUBE (教育省/ガーナ教育サービス) School feeding program (ジェンダー・子ども・社会保障省) School Support program (ガーナ・カカオ・ボード)

### 3. 他部門・外部組織との連携の可能性

#### 既存の政府の制度やプログラムを機能させることが重要

- CLFZは新しいものではなく、既存の取組を統合する枠組み

CLFZ指標	既存の政府システム
世帯登録 (C1)	Ghana Child Labour Monitoring System (雇用・労働関係省) Ghana National Household Registry (ジェンダー・子ども・社会保障省) Social Welfare Information Management System National Census



#### COMMUNITY REGISTER

Register of people in the community

SCOPE : Community  
 REGION : Ashanti  
 DISTRICT : Nkwanta West  
 COMM. : Enyimem  
 DATE :

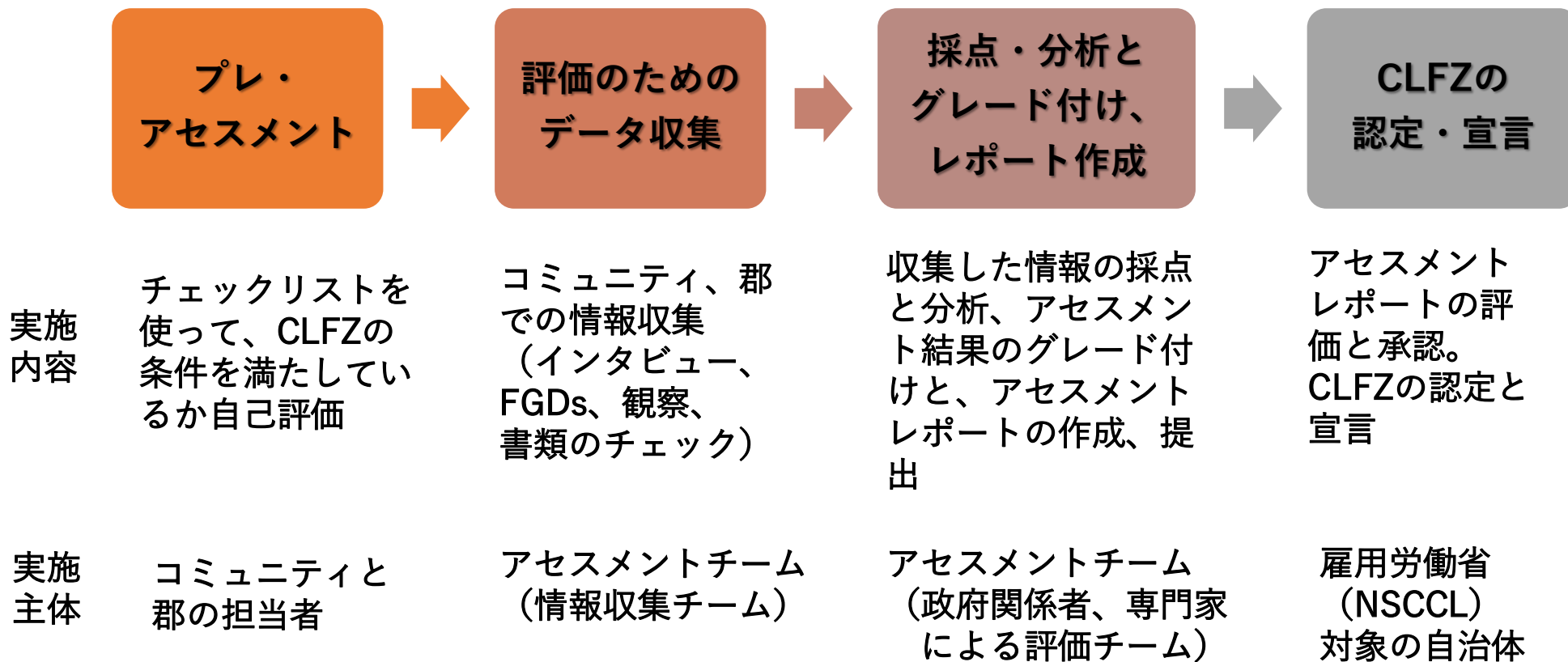
REGION	DISTRICT	COMMUNITY	MEMBER NAME	AGE	GENDER	HOUSE NO.	HOUSEHOLD	SCHOOL STATU
Ashanti	Nkwanta West	Enyimem	Yaw Oku Ampofo Anakwah's Amankwah	0	male	Pit 52 blk c	Yaw Oku Ampofo Anakwah's Household	

←  
 ガーナ政府が試験  
 運用する世帯登録  
 のデータベース  
 (Webページ)

## 5. CLFZアセスメントシステムの構築支援 (ガーナでのパイロット活動)

# CLFZ認定のためのアセスメント(評価)の流れ

(ガイドライン8-10ページ)



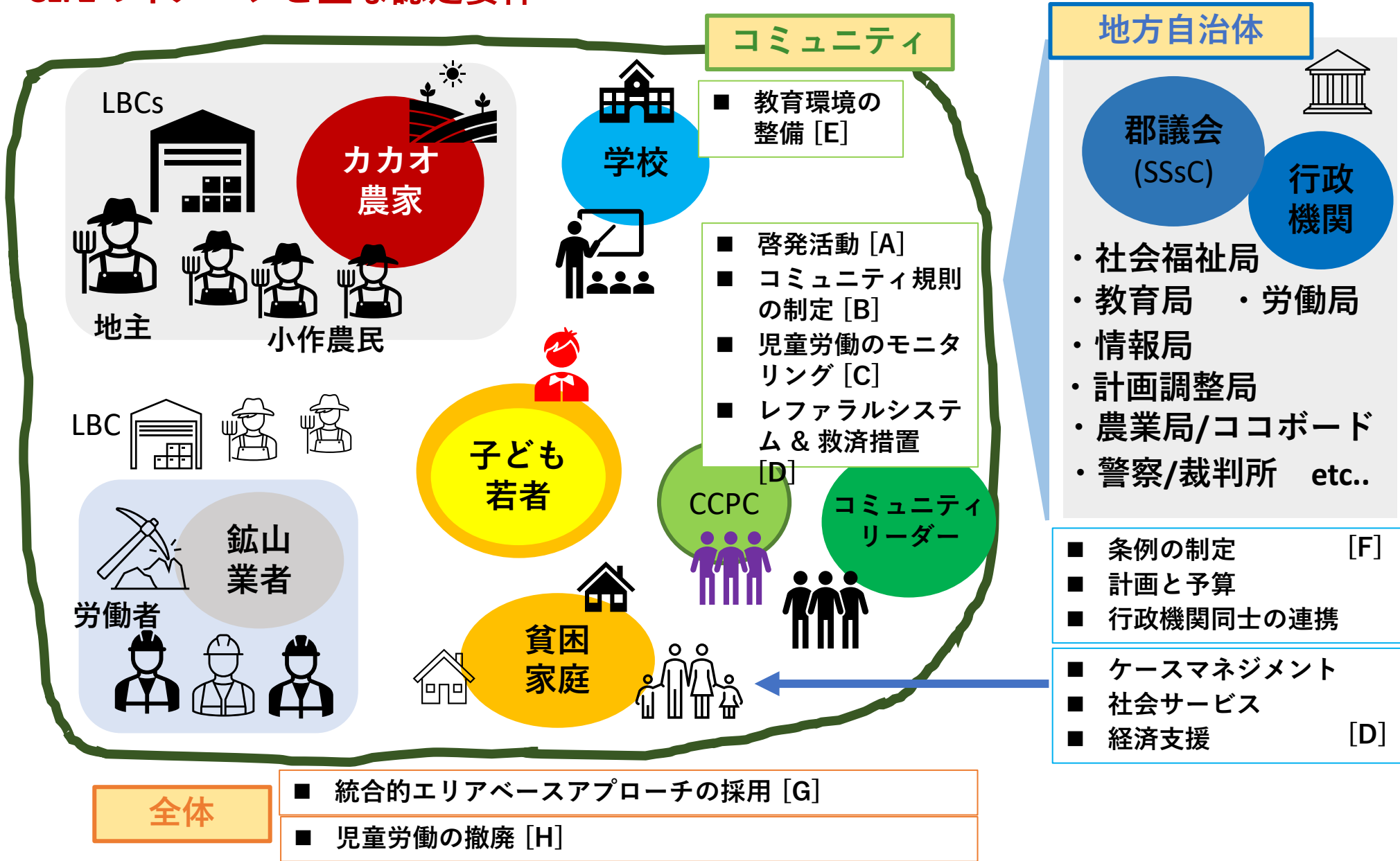
(宣言後) 年1回、郡がコミュニティの内部レビューを実施し、児童労働ユニット（CLU）に報告。3年ごとに、アセスメントチームによる外部レビューを実施。

# CLFZ認定に必要な要件(指標)(ガイドライン17-28ページ)

レベル	必要な要件（メイン指標項目）	指標
コミュニティレベル	➤ 児童労働に関する定期的な啓発活動の実施	A1～A7
	➤ 子どもの保護に関する村の規則の制定	B1～B3
	➤ CCPCの設置と児童労働のモニタリングの実施	C1～C7
	✓ 世帯登録による児童労働リスクの把握と定期的なデータ更新	
	✓ 労働現場、コミュニティ内、学校におけるモニタリング	
	✓ コミュニティ活動計画（CAP）の策定とその実行	
	➤ 児童労働に関する照会システムと救済措置へのアクセス	D1～D4
➤ 子どもの教育に必要な学校環境の整備（就学率や出席率含む）	E1～E5	
自治体レベル	➤ 児童労働撤廃に向けた自治体の条例	F1
	➤ 郡議会および郡の関係機関の実施体制、連携体制	F2
	➤ 脆弱な家庭に対する経済支援や福祉的サポートの提供	F3
	➤ 自治体の中期開発計画、年次活動計画や予算への介入策の組み込みと計画や予算の執行	F4、F5
全体	➤ 統合的エリアベース・アプローチの採用	G1
	➤ 児童労働の削減と撤廃	H1～H3



# CLFZのイメージと主な認定要件



# CLFZアセスメントのためのデータ収集

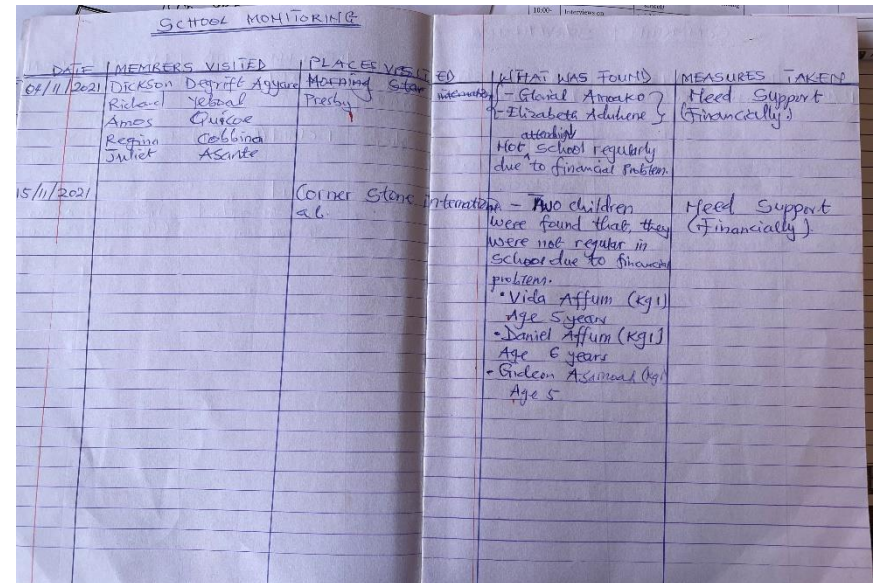
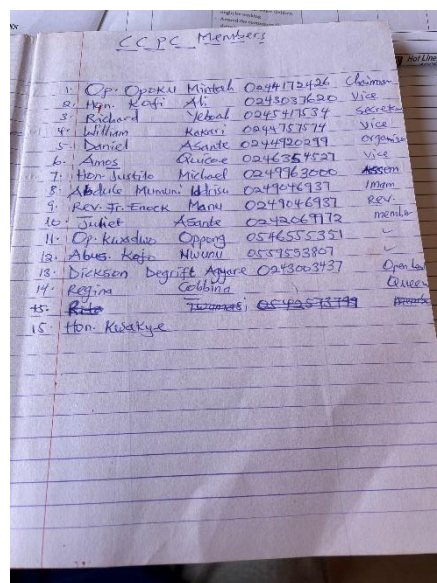
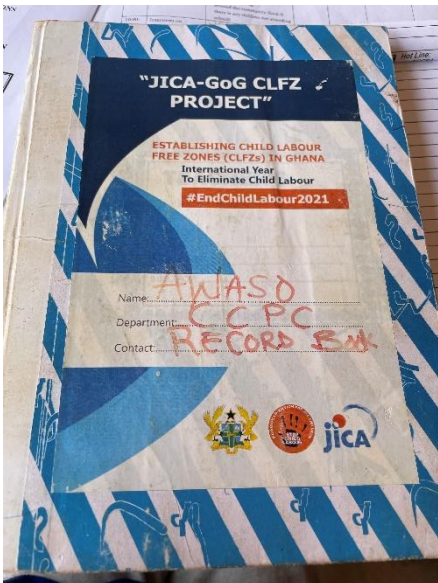
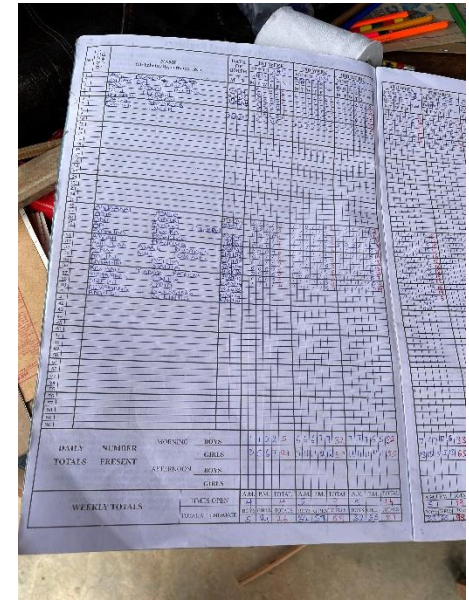
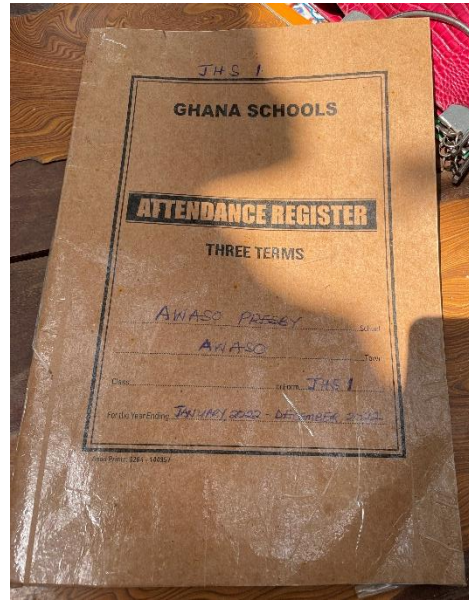
アチュマ・ンプニューア郡、ビビアニ・アンフィアソ・ベクワイ郡の各2村、合計4村で、以下をテスト実施。

データ収集方法	対象者
住民インタビュー	男女、おとな、子ども（年齢、性別、職業など、多様な属性を対象とする）
個別インタビュー	支援対象の子ども、保護者
グループインタビュー	<ul style="list-style-type: none"><li>• コミュニティリーダーとCCPCメンバー</li><li>• PTA、学校運営委員会（SMC）メンバー</li><li>• 郡行政機関の関係者（社会福祉、教育、労働、情報、CHRAJなど）</li></ul>
観察	<ul style="list-style-type: none"><li>• 学校環境（トイレ含む）</li><li>• 児童労働の啓発ツールの掲示 など</li></ul>
書類のチェック	コミュニティ規則、各種メンバーリスト、CCPCの活動記録、学校の出席簿、行政機関の活動計画・予算書等









# アセスメントレポートの発行

## CHILD LABOUR FREE ZONE ASSESSMENT REPORT

MAY, 2022

### CLFZ National Assessment Report

#### Section A: Zone Particulars

Name of MMDA: <a href="#">Bibi-Anhwiaso-Bekwai Municipal Assembly (BABMA)</a>
GPS Location: WB-0001-9505 Region: <a href="#">Western North</a>
Email: <a href="mailto:clientservice@babma.gov.gh">clientservice@babma.gov.gh</a> Phone: <a href="tel:0592900164">0592900164</a> (George Ahasu)
Name of MMDCE: Hon. Alfred Amoah
Name of MMDCD: Mohammed Yahaya Abudu
Name of CLFZ Focal Person (Maxwell Nkessah- Chairman of S5sC, Ellis Mensah - DSW Director, <a href="#">George Ahasu - Labour Officer</a> ;
Website: <a href="http://babma.gov.gh">babma.gov.gh</a>
CLFZ Code ID: _____ Date: <a href="#">4<sup>th</sup> March 2022</a>

#### Section B: Summary of Assessment Activities

Date	Activity	Place
N/A	Pre-Assessment	N/A
28 <sup>th</sup> February-1 <sup>st</sup> March 2022	Data Collection	Awaso, Ntakam
2 <sup>nd</sup> March 2022	Data Cleaning	Kumasi
3 <sup>rd</sup> March 2022	Scoring and Data Entry	Kumasi
4 <sup>th</sup> March 2022	Data Analysis, Grading and Reporting	Kumasi

#### Assessment Team

No.	Data Collectors	Data Analyst	Scoring and Grading Team
1	<a href="#">Kwame Mahamad</a>	<a href="#">Peter Agye</a>	<a href="#">Peter Agye</a>

#### Section D: Main Assessment Score

Item	Main Assessment Indicator	Original Score (out of 100)	Category Score (weighted)	Remarks
A	Effective Awareness Raising and Advocacy	56.41	5.64	<b>Performance:</b> below average <b>Observation:</b> The performance cuts across almost all the sub-indicators with the exception of A3 and A7 that had an average performance. <b>Recommendation:</b> Much attention should be giving to Indicator A6 on the usage of IEC materials for sensitization. Visual materials such as posters are known to communicate effectively comparatively.
B	Functional Community-level Regulations	46.56	4.66	<b>Performance:</b> below average. <b>Observation:</b> This runs through all the three sub-indicators though B1 was marginally above the rest. <b>Recommendation:</b> Should intensify efforts to disseminate and apply appropriate sanctions to offenders.
C	Functional Child Labour Monitoring System (CLMS) Exists	45.81	9.16	<b>Performance:</b> below average. <b>Observation:</b> However, indicators C1 on functional CCPCs, C4 on school monitoring and C6 on building capacities of CCPC had average performances. Indicators on C1, Community Register, C7 and C8 on Community Action Plans were not fulfilled at all. <b>Recommendation:</b> There is the need to take immediate actions to develop community registers and Action Plans and make them available to the Assembly for incorporation.
D	Efficient and Effective Referral, Remediation and Support for Affected Children	45.05	6.76	<b>Performance:</b> below average. <b>Observation:</b> No information was obtained for indicator D4 on support for parents/guardians of affected children and this probably affected the performance of the indicator.



# CLFZアセスメントのテスト実施を通じた学び

- CLFZのゾーン区分が自治体単位だと大きすぎる（サンプル数も膨大になり、アセスメントの実施も困難）
- あまり重要でない項目が指標に設定されている。
- 指標として設定されている項目について、データが収集できないものがある（既存のシステムが機能していることが大前提）



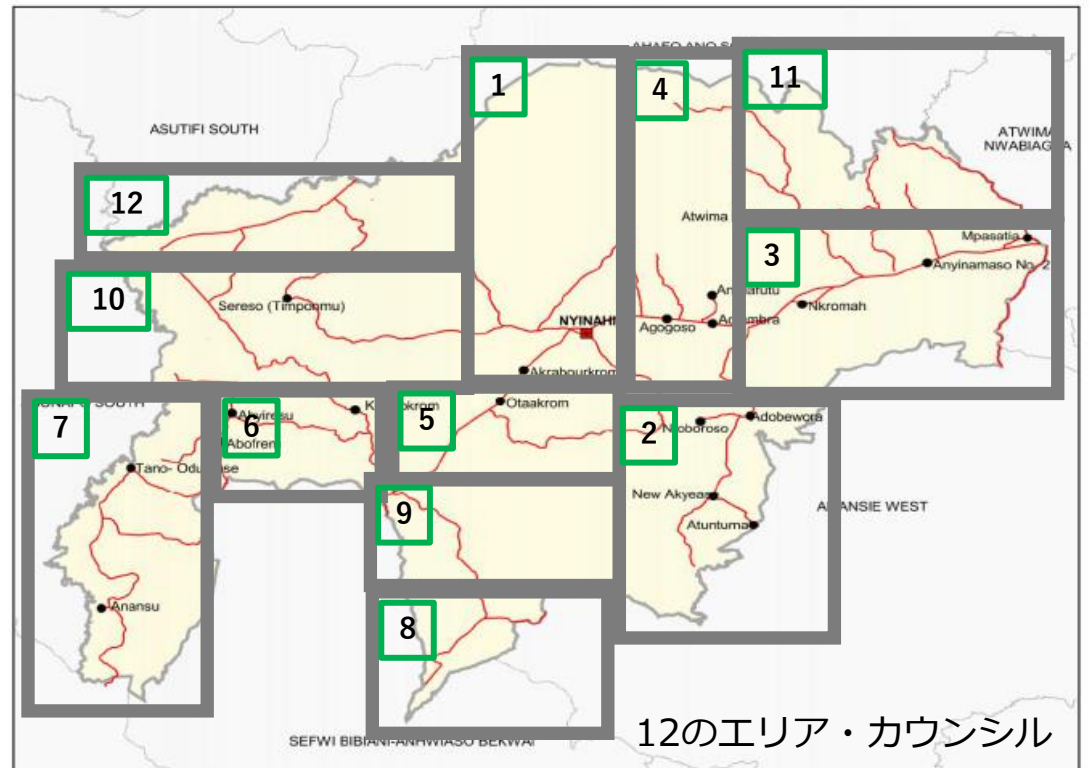
## (CLFZガイドライン改定案)

- **CLFZゾーン区分の変更：**  
自治体単位からカウンスル単位へ。
- 一部指標の統廃合：  
教育関連はEに集約。  
指標Gは削除。全7項目に。
- 州監督チームと郡調整ユニットの設置
- プレ・アセスメントチェックリストの改訂

# CLFZのゾーン区分（認定単位）の変更

Municipality→Zonal Council  
District→Aria Council

アチュマ・ンプニユア郡の場合：  
257村が、12のエリア・カウンシルに区分される



# 今後の方向性

## 1. 改訂CLFZガイドライン案の正式承認

## 2. 改訂したCLFZガイドラインに基づいたアセスメントツールの改訂とアセスメント実施体制の確立

- アセスメント実施ガイドブックの作成

## 3. 関連した政府プログラム・機能の強化

- ガーナ児童労働モニタリングシステム（GCLMS）と世帯登録の普及
- 国勢調査等の全国調査での児童労働データの把握
- コミュニティレベルの教育データの収集の徹底（就学率、出席率）
- 政府プログラムを支援している他ドナーとも連携、調整する

## 4. 郡レベルのデータの把握とリーチアウト戦略の策定

- モデルとなるCLFZの構築、実現
- 郡内で活動する企業、NGO等との連携、役割分担



# ご清聴ありがとうございました!

本調査の最終レポートは、今後JICA図書館にて公開されます。  
ご関心のある方は、下記URLよりアクセスしてください。

調査名：ガーナ共和国 カカオ・セクターを中心とした児童労働に係る情報収集・確認調査

<https://libopac.jica.go.jp/>

ご質問やコメントなどがありましたら、  
以下にご連絡をお願いします。

[choco@acejapan.org](mailto:choco@acejapan.org)